

平成 27 年 度

県立一志病院 組織・業務概要



三重県立一志病院

〔平成 27 年 6 月 1 日〕

1 基本理念・ビジョン・経営方針

当病院は、昭和20年1月に日本医療団家城診療所として設置されたものを、昭和23年11月、日本医療団の解散により三重県立一志病院として開設されました。

開設以来、津市西部地域(旧一志郡の白山町、美杉村等)を主な診療圏とする入院施設をもつ唯一の病院として、地域医療、救急医療を行い、地域住民の健康保持に必要な医療サービスを提供しています。

平成19年度からは、高齢者等が住み慣れた地域で安心して暮らしていけるよう、幅広いニーズに応える総合的な医療(家庭医療)を実践しています。その他、地域において強い要望がある在宅療養を支援するため、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション等を実施するとともに、休日、夜間も含めた救急医療(一次救急)、住民健診等の予防医療にも取り組んでいます。こうした取り組みを通じ、全国の医療過疎を解決する病院のモデルになることをめざしています。

また、地域医療を担うことができる、幅広い臨床能力を有する医師(家庭医)等医療スタッフの育成にも取り組んでいます。

基本理念

地域の皆様に信頼され、良質であたたかみのある医療サービスを提供します。

ビジョン

- 家庭医を中心とした地域医療、地域医療を担う人材の教育、医療や教育に関する研究に取り組むことにより、全国の医療過疎を解決する病院のモデルになることをめざします。

経営方針

- 家庭医療を中心とした医療を実践します。
- 家庭医が推進者となり、地域に最適な包括的かつ全人的な医療の体制を住民の皆さんとともに創ります。
- 研修医や医学生等に対する実地教育を通じて、地域医療の魅力や意義を伝えます。
- 家庭医療、地域医療、医療教育に関する実践的かつ先進的な研究を行います。
- 医療サービスを継続的に提供できるよう、経営の健全化に努めます。

2 沿 革

昭和20年 1月	日本医療団家城診療所開設
昭和23年11月	医療団解散により県立一志病院として開設(普通26床、結核12床)
昭和41年 5月	救急病院告示
昭和43年 9月	小児ぜんそく治療のため一般病棟に専用ベッドを開設(「若あゆ教室」として発足)
昭和46年12月	病床数113床(一般80床、結核20床、伝染病13床)
昭和49年 9月	病床数113床(一般95床、結核5床、伝染病13床)
昭和52年 3月	「若あゆ教室」患者が国立療養所三重病院へ転院
昭和58年 8月	病院群輪番制病院
昭和59年11月	病院改築工事着工
昭和61年 3月	病院改築工事竣工(一般110床、伝染病8床)
平成10年 3月	第1次経営健全化計画(平成10年度～平成13年度)
平成11年 4月	一般110床を一般46床・療養型44床に変更
平成11年 7月	院外処方の実施
平成12年 4月	小児科休診、浴室棟増築
平成12年12月	伝染病棟の廃止
平成14年 3月	第2次経営健全化計画(平成14年度～平成15年度)
平成16年 3月	中期経営計画(平成16年度～平成18年度)
平成17年 1月	病院機能評価の認定を取得、緩和ケア病床(3床)の整備
平成17年 8月	難病医療協力病院指定
平成19年 3月	療養病棟休棟
平成19年 4月	家庭医療の取組み開始
平成19年11月	病院群輪番制から離脱
平成19年12月	病院敷地内全面禁煙、禁煙外来開始
平成21年 4月	耳鼻咽喉科休診
平成21年 8月	整形外科休診
平成21年10月	整形外科再開
平成22年 1月	病院機能評価の認定終了(更新せず)
平成22年 4月	整形外科休診
平成22年 7月	介護保険による訪問看護開始
平成22年 9月	介護保険による訪問リハビリテーション開始
平成22年12月	中期経営計画(平成22年度～平成24年度)
平成24年 4月	病床数を一般46床・療養型40床に変更
平成25年 3月	中期経営計画(平成25年度～平成27年度)
平成25年10月	訪問薬剤指導開始
平成26年 9月	へき地医療拠点病院指定
平成26年12月	訪問栄養指導開始

3 施設の概要

(1) 診療科目

内科、外科、眼科、
〔休診中〕整形外科、小児科、耳鼻咽喉科、産婦人科、放射線科

(2) 施設基準 (H27年4月1日現在)

ア 基本診療料

一般病棟入院基本料2(10対1)、看護必要度加算2、救急医療管理加算、
診療録管理体制加算2、重症者等療養環境特別加算、退院調整加算
医療安全対策加算2、感染防止対策加算2

イ 特掲診療料

小児科外来診療料、ニコチン依存症管理料、薬剤管理指導料
検体検査管理加算Ⅱ、CT撮影及びMRI撮影、がん患者指導管理料1、
がん患者指導管理料2、がん性疼痛緩和指導管理料、
脳血管疾患等リハビリテーション管理料(Ⅲ)、
運動器リハビリテーション料(Ⅱ)、呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)、
在宅療養支援病院、在宅時医学総合管理料、
特定施設入居時等医学総合管理料

ウ 入院時食事療養費

入院時食事療養費／入院時生活療養費(Ⅰ)

(3) 許可病床数

一般病床 46床、療養病棟 40床(休床中) 合計86床

(4) 敷地面積

14,959.20㎡(病院敷地13,587.06㎡、医師公舎敷地1,372.14㎡)

(5) 建物の状況

診療棟	2,317.21㎡	プロパン庫	12㎡
病棟	3,410.98㎡	中和層上屋	12.8㎡
エネルギー棟	224.06㎡	ブロワー室	16.38㎡
浴室棟	86㎡	医師公舎	133.78㎡

(6) 職員数 (H27年6月1日現在)

ア 常勤職員 51人

医師(寄付講座医師3名含む)9、看護師26、放射線技師2、
理学療法士2、臨床検査技師2、薬剤師2、管理栄養士1、
医療福祉技師1、事務職員6

イ 業務補助等職員 23人

看護師5、准看護師4、介護助手7、臨床検査技師1、施設管理嘱託1
事務職員5

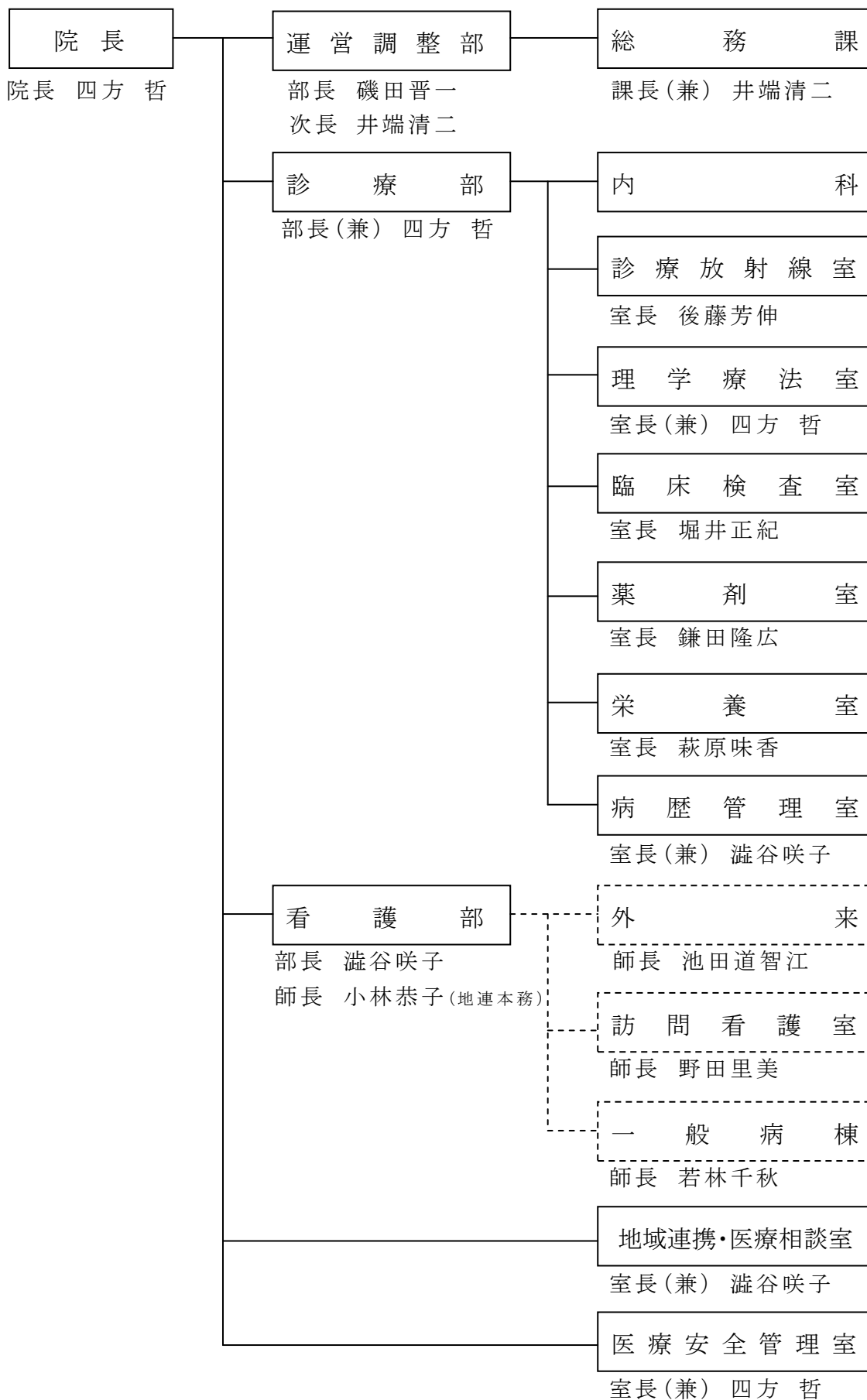
ウ 非常勤医師 12人

内科医師5、外科医師3、眼科医師2、放射線科医師2

エ 委託事業者等 30人

医事委託15、給食委託7、清掃委託5、売店2、洗濯1

(7) 組織図 (平成27年4月1日現在)



4 入院・外来の状況

(1) 入院の状況

ア 延患者数

(単位:人)

	H22	H23	H24	H25	H26
一般病棟	12,721	12,038	9,936	13,029	12,305
診療日数	365日	366日	365日	365日	365日

イ 1日平均患者数

(単位:人/日)

	H22	H23	H24	H25	H26
一般病棟	34.9	32.9	27.2	35.7	33.7

ウ 病床利用率

(単位:%)

	H22	H23	H24	H25	H26
一般病棟	75.8	71.5	59.2	77.6	73.3
全体〔休床含む〕	38.7	36.5	31.7	41.5	39.2

エ 診療単価(税抜決算額)

(単位:円)

	H22	H23	H24	H25	H26見込
一般病棟	23,808	25,354	26,785	26,415	27,220

(2) 外来の状況

ア 延患者数

(単位:人)

	H22	H23	H24	H25	H26
内 科	21,107	20,940	20,947	20,768	20,337
外 科	198	141	146	145	120
眼 科	1,341	1,262	1,059	1,141	1,108
合 計	22,646	22,343	22,152	22,054	21,565
診療日数	243日	244日	245日	244日	244日

イ 1日平均患者数(実診療日数に基づく)

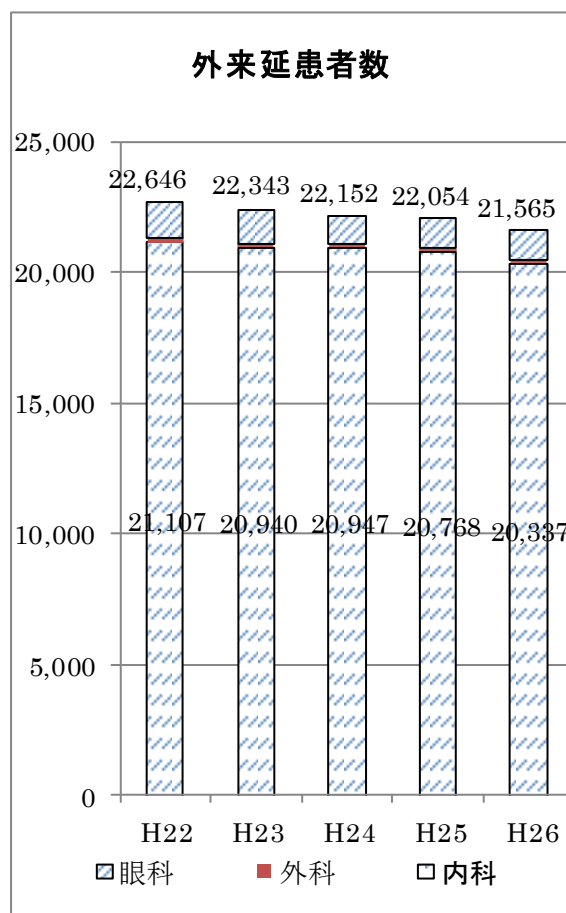
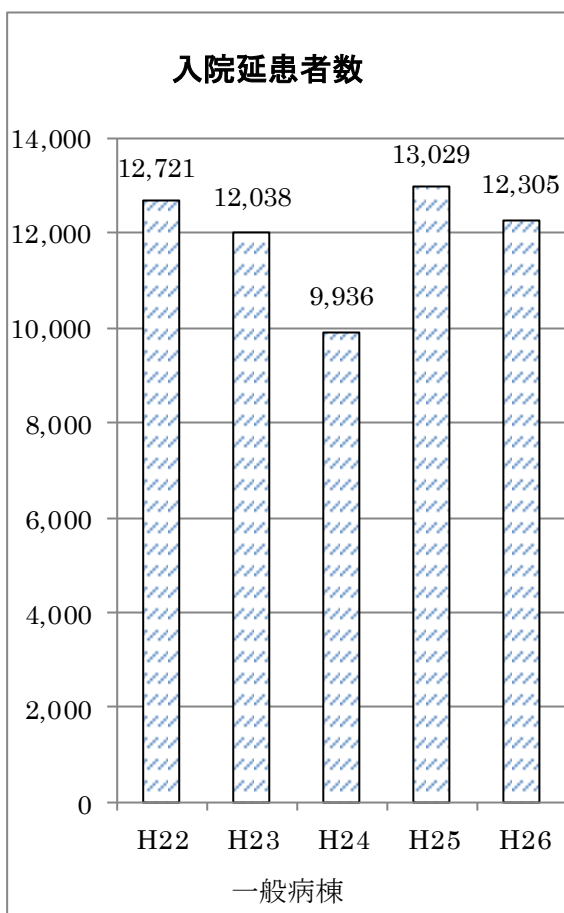
(単位:人/日)

	H22	H23	H24	H25	H26
内 科	86.9	85.8	85.5	85.1	83.3
外 科	2.0	1.4	1.5	1.4	1.2
眼 科	14.3	13.4	11.0	12.1	11.9
合 計	93.2	91.6	90.4	90.4	88.4

ウ 診療単価(税抜決算額)

(単位:円)

	H22	H23	H24	H25	H26
内 科	8,227	8,604	7,698	7,372	6,753
外 科	8,364	8,439	8,814	9,961	11,142
眼 科	6,005	6,515	5,768	5,256	4,935
合計	8,097	8,485	7,614	7,280	6,684



5 経営状況

(1) 収益的収支の状況(税抜決算額)

(単位:千円)

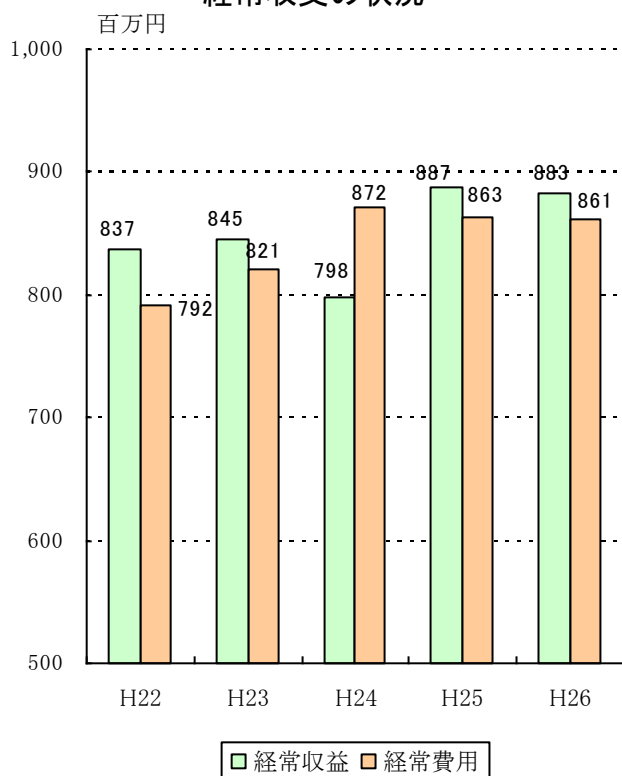
	H22	H23	H24	H25	H26
病院事業収益	836,980	845,381	797,659	886,975	882,675
①医業収益	528,712	542,539	485,058	565,140	547,026
入院収益	302,861	305,216	266,138	344,161	334,945
外来収益	183,367	189,572	168,655	160,549	144,139
その他医業収益	42,484	47,751	50,265	60,430	67,941
②医業外収益	308,268	302,842	312,601	321,835	335,650
他会計補助金(イ)	31,157	34,344	30,887	30,153	29,444
補助金	220	0	0	0	12,417
負担金(ロ)	268,836	262,036	278,839	290,965	291,714
その他医業外収益	8,055	6,462	2,875	717	2,075
(再掲)繰入金(イ+ロ)	299,993	296,380	309,726	321,118	321,158
③特別利益	0	0	0	0	0
病院事業費用	805,457	941,157	885,494	875,984	1,146,633
④医業費用	773,136	802,494	854,005	847,563	838,141
給与費	462,237	486,010	534,197	520,272	519,998
材料費	96,790	98,003	81,032	75,629	65,597
(うち薬品費)	68,247	71,237	56,781	45,294	36,898
経費	160,519	164,823	181,898	196,847	190,669
(うち報償費)	28,545	29,787	36,273	46,640	49,816
(うち光熱水費)	11,969	12,550	13,074	14,493	14,801
(うち修繕費)	6,961	5,982	9,172	13,494	7,366
(うち賃借料)	7,249	7,543	9,415	7,220	5,759
(うち委託料)	88,640	90,874	93,078	93,766	93,593
減価償却費	52,092	49,228	50,460	49,557	54,149
資産減耗費	575	2,748	4,569	2,971	5,770
研究研修費	924	1,682	1,849	2,287	1,958
⑤医業外費用	18,925	18,470	18,094	15,025	22,831
支払利息	5,535	4,716	3,939	3,064	2,312
繰延勘定償却	2,136	2,154	2,190	2,181	2,048
患者外給食材料費	0	0	122	183	188
雑損失	11,254	11,600	11,843	9,597	18,283
⑥特別損失	13,396	120,193	13,396	13,396	285,662
医業損益(①-④=⑦)	▲244,424	▲259,955	▲368,946	▲282,423	▲291,115
経常損益(⑦+②-⑤=⑧)	44,919	24,417	▲74,439	24,387	21,704
当期純損益(⑧+③-⑥)	31,523	▲95,776	▲87,835	10,991	▲263,958

(2) 資本的収支の状況

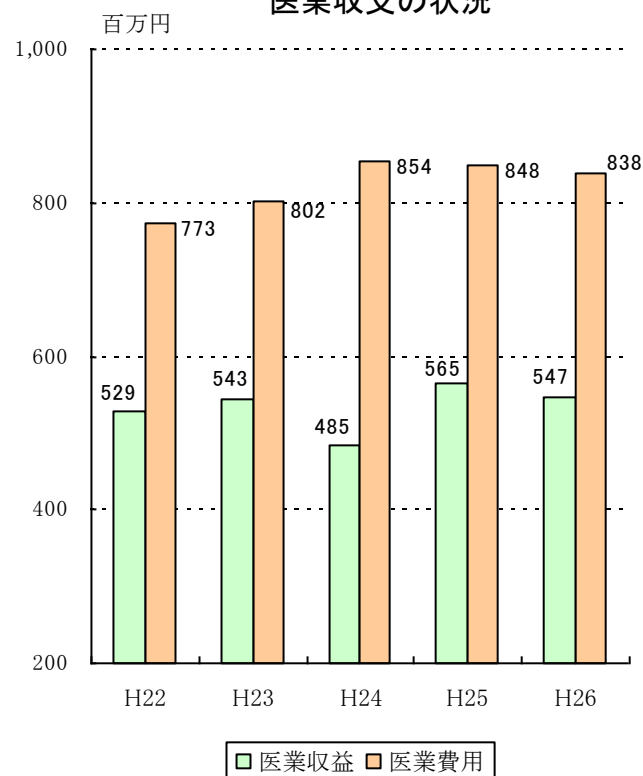
(単位:千円)

	H22	H23	H24	H25	H26
資本的収入	64,461	80,223	85,547	99,322	127,897
企業債	14,000	28,500	17,700	42,200	70,400
国庫補助金	0	0	0	0	0
県費負担金	50,461	51,723	67,847	57,122	57,497
その他	0	0	0	0	0
資本的支出	98,884	109,274	104,379	146,811	165,516
建設改良費	22,630	30,503	22,090	57,379	75,216
病院増改築工事費	0	0	11,834	33,852	30,526
資産購入費	22,630	30,503	10,256	23,527	44,690
企業債償還金	76,254	78,771	82,289	89,432	90,300
長期借入金償還金	0	0	0	0	0
資本的収支差引	▲34,423	▲29,051	▲18,832	▲47,489	▲37,619

経常収支の状況



医業収支の状況



6 三重県病院事業中期経営計画（平成25年度～平成27年度）

《平成27年度 年度計画 一志病院関係部分抜粋》

平成27年度の目標と取組方向

平成27年度は、これまで一志病院が推進してきた地域に最適な包括的で全人的な医療体制づくりに必要な多職種連携の取組を定着させるとともに、取組への住民参画を推進します。

また、家庭医を中心とした家庭医療を地域の皆さんに提供するとともに、家庭医療に携わる医師、看護師等人材の育成を進めます。

1 重点的な取組

◇ 地域に最適な包括的で全人的な医療の体制づくり

医師、看護師などの医療関係者やケアマネージャー、社会福祉協議会職員などの福祉関係者、保健師、市職員などの保健関係者など多数の参加を得た多職種連携の取組を定着させるとともに、地域住民の皆さんの参画を推進します。

目標項目	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27目標
地域に最適な医療の体制づくり参加機関数（者）	9	11	14	15

地域に最適な包括的で全人的な医療の体制づくり

「家庭医療」は、臓器単位ではなく、患者それぞれの家庭や職場、地域などの背景も考慮した全人的な医療であり、医療・予防（保健）・介護（福祉）の連携を考えた包括的なケアを提供するものです。

一志病院は、こうした包括的で全人的な医療を提供するために、地域という単位で、その地に最適な保険・医療・福祉が連携したシステムづくりに、関係機関や住民の皆さんとともに取り組んでいきます。



2 役割及び機能の充実に向けた取組

(1) 家庭医を中心とした地域医療の取組

① 家庭医療

三重大学の協力も得ながら家庭医の診療体制を充実することにより、病気の治療だけでなく、予防医療やリハビリテーション、健康相談などを含む全人的な医療サービスを安定的に提供します。

また、へき地診療所への代診医派遣などを行う「へき地医療拠点病院」として県内の医療過疎地域に対する支援に取り組みます。

目標項目	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27目標
家庭医療等外来患者数（人／日） （予防医療受診者等を含む。）	105.0	105.4	104.7	1 1 3

② 地域に最適な包括的で全人的な医療の体制づくり

医師、看護師などの医療関係者やケアマネージャー、社会福祉協議会職員などの福祉関係者、保健師、市職員などの保健関係者など多数の参加を得た多職種連携の取組を定着させるとともに、地域住民の皆さんの参画を推進します。

目標項目	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27目標
地域に最適な医療の体制づくり参加機関数（者）【再掲】	9	1 1	1 4	1 5

③ 予防医療

健康診断やがん検診、人間ドック等による予防医療に取り組むとともに、健康教室等を定期的に行い、地域住民の皆さんの健康管理に対する意識啓発を図ります。

目標項目	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27目標
住民健診・がん検診受検者（人）	1,215	1,196	1,300	1,250

④ 在宅療養支援

多職種連携の取組で築いた顔の見える関係を生かし、地域の診療所や介護施設、保健師やケアマネージャー等と連携し、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション等の在宅療養支援に取り組みます。

目標項目	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27目標
訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション延べ患者数（人）	3,439	3,221	3,424	3,270

⑤ 救急医療

救急隊と合同勉強会を定期的に行い、消防関係機関との緊密な連携体制の構築に努めるとともに、初期救急医療を担う医療機関として、24時間365日対応できる体制を維持し、救急患者の受入れに取り組みます。

目標項目	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27目標
救急患者受入件数（人） （救急車搬送患者を含む。）	1,036	1,065	1,182	1,000

(2) 地域医療を担う人材の教育

① 家庭医の育成

家庭医(総合診療医)育成拠点施設として、初期研修医や医学生を積極的に受入れ、家庭医の教育に全国に先駆けて取り組んできた三重大学と連携し、一志病院をフィールドにした実践的な研修を行います。

目標項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27目標
初期研修医・医学生受入人数(人)	39	48	44	49

② 看護師等の育成

地域看護の実践を通じて職員一人ひとりの意識・知識の一層の向上を図るとともに、看護師等の養成機関と連携して実習生の受入れを行うなど、地域看護に関心を持つ看護師等の育成支援に取り組みます。

目標項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27目標
看護実習等受入率(%)	100	100	100	100

③ 医療従事者の能力向上

専門的な研修等に関する情報を収集し院内で共有するとともに、学会、研修等に参加しやすい環境づくりに努めます。

また、多職種が参加するカンファレンス等を開催します。

目標項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27目標
学会、研修、カンファレンス等の参加率(%)	100	100	100	100

(3) 家庭医療、地域医療、医療教育に関する研究

家庭医療、地域医療、医療教育に関する実践的で先進的な研究を行うため、カンファレンス等を通じて職員一人ひとりの研究に取り組む意欲を醸成するとともに、研究を行うための体制を整えます。

目標項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27目標
学会発表・論文発表件数(件)	4	20	28	20

3 経営の健全化及び業務改善に向けた取組

(1) 経営の健全化に向けた取組

① 収支改善

入院・外来患者数や予防医療受診者数、診療単価の増等により収益の増加を図るとともに、材料費や経費等の費用の縮減を図り、経営の健全化をめざします。

また、平成28年度に実施される診療報酬改定等の動向を見定め、医療サービスが収益にも確実に反映されるよう対応します。

目標項目	H24実績	H25実績	H26見込	H27目標
経常収支比率(%)	91.5	102.8	102.5	100.0

② 収益確保

地域関係機関との連携を強化するとともに、イベント等への参加や協力を通じて一志病院の取組を紹介するなどし、患者数等の増に努めます。

また、施設基準の新規取得や上位取得に取り組むとともに、関係部門が連携して請求漏れ対策や減点対策等に取り組みます。

目標項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27目標
診療報酬検討会開催回数（回）	2	12	12	12

③ 費用縮減

職員一人ひとりのコスト意識を徹底するとともに、診療材料等の適正な在庫管理を行い、材料費や経費の節減に努めます。

また、電子入札システムによる物品・役務調達を増やすこと等により経費の縮減に努めます。

目標項目	H24実績	H25実績	H26見込	H27目標
材料費、経費対医業収益比（％）	54.2	48.2	46.8	48.5

（2）業務改善に向けた取組

① 医療情報システムの導入

平成26年度において、医事電算システムの更新を終えたことから、今後は、当該システムの安定的な稼働に向けて、運用の改善等を図っていきます。

目標項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27目標
システム導入の検討	—	検討	導入	—

② 休止中の施設活用の検討

休床している療養病棟の活用方法について、院内に設置した病院の理想像等を検討する「夢プロジェクト」において、病院のありたい姿を意見交換しながら、施設の活用方法を検討し、課題整理に取り組みます。

目標項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27目標
休止中の施設の活用方法の検討	—	未着手	検討開始	課題整理

③ 患者満足度の向上

接遇に関する院内研修を開催するとともに、月間目標の徹底、定期的な接遇チェック等により職員一人ひとりの接遇能力の向上を図ります。

また、患者や地域住民の皆さん、職員から寄せられた提案等を実現できるよう、ワーキンググループ活動等を通じた業務改善に取り組みます。

目標項目	H24実績	H25実績	H26実績	H27目標
患者満足度（％）	81.5	82.7	75.0	85.0

家庭医療とは？

日常よく見かける病気を持つ患者様に責任をもって対処し、しかも患者さんの家庭や社会背景も考えながら、幅広い診療を行います。

具体的には？

- ◆対象とする人の年齢、性別、部位を問いません。
 - ・小児から高齢者の健康問題、男性・女性の健康問題を扱います。
 - ・内臓の問題から皮膚や整形、時には心の問題まで扱います。
 - ・どこに受診したら良いか判断に迷う場合など、幅広く気軽に相談していただけます。
- ◆身近な病気、症状を主な対象とします。
 - ・例えば、糖尿病・肥満などの生活習慣病や風邪、頭痛などのあらゆる身近な病気に対応します。
- ◆予防、リハビリを含めたあらゆる健康に関する問題に対処します。
 - ・健康診断や予防接種を行うほか、健康教室なども開催して病気でない時にも、より健康な生活が送れるように関わります。
- ◆身体だけでなく、患者さんの心理・社会的な面まで考えた医療を行います。
 - ・患者さんの病気だけでなく、家庭や家族の気持ちにも配慮します。
- ◆患者さん中心の医療を重視します。
 - ・患者さんの考えや希望をお伺いした上で、一緒になって治療方針を考え、より良い医療を提供していきます。
- ◆適切な専門医や医療福祉サービスへの窓口となります。
 - ・必要があれば適切な専門医を紹介し、あるいは保健や福祉にかかわる人たちとも連携して最も良いと考えられるサービスを提供します。

いつもあなたのそばに！「家庭医療」・・・家庭医療の実践

特定の臓器や疾患に限定することなく幅広い視野で患者を診る医師が必要なことや、高齢化に伴い臓器や領域を越えた継続的なケアが必要なことなどから、総合的な診療能力を有する医師が必要とされています。

このような中、国においては、有識者で構成される検討会を設置し、総合診療医や総合医、家庭医等の名称について、総合的な診療能力を有する医師の名称は「総合診療医」とし、その専門医としての名称は「総合診療専門医」とするとの報告が示されました。

これまで一志病院では、「家庭医療」を実践する中で、風邪や頭痛など日常よく見かける病気にも責任をもって対処し、患者の家庭や社会背景も考えながら幅広い診療を行うとともに、予防やリハビリテーションを含めたあらゆる健康に関する問題にも対処してきました。また、家庭医（総合診療医）育成拠点の整備等を通じて診療体制の充実を図りながら、今後の地域医療の確保に向けた人材育成や研究等を進め、白山・美杉地域等における地域医療の推進に取り組んでいるところです。

一志病院では、こうした取組により「家庭医・家庭医療」の名称が地域の皆さんに慣れ親しまれてきたことや三重大大学の取組等を踏まえ、当面は医療法等の法令の規制が及ぶ範囲を除いて使用することとし、『いつも あなたのそばに！「家庭医療」』をキャッチフレーズに、これからも地域の皆さんに信頼される病院づくりを進めていきます。

〔一志病院に関する情報〕

◆当院の診療圏

津市西部の白山町と美杉町を医療圏として地域のプライマリケアを担っています。人口としては津市の6%を占めるに過ぎませんが、面積は津市の約半分をカバーしています。過疎化は進行し、とくに美杉町は高齢化率が55%となっています。

	面積(km ²)	人口(万人)	高齢化率(%)
津市全体	710	28.4	27.2
白山町	112	1.2	36.1
美杉町	207	0.5	55.5

H27年2月 住民基本台帳人口

このように高齢化が進んでいる白山・美杉地域では、在宅医療に対するニーズが高まっており、一志病院は地域の診療所や介護施設等と連携し、訪問診療、訪問看護、訪問リハビリテーション、訪問薬剤指導、訪問栄養指導など、在宅療養支援にも積極的に取り組んでいます。

◆人材の育成

一志病院では、初期研修医、後期研修医、三重大学医学生、看護・介護実習生等の受入れを積極的に行っています。

三重大学附属病院のほか、愛知県や大阪府の病院などの初期研修医が、概ね1か月間、白山地域で暮らしながら地域医療の実習を行っています。

また、平成25年5月に運用を開始した家庭医(総合診療医)育成拠点としてのカンファレンスルームや宿泊室(4室)を活用し、年間40名近くの三重大学医学生が実習を受けに来ています。

◆多職種連携の取組

地域に最適な包括的で全人的な医療の体制づくりを進めるため、一志病院がこれまで取り組んできた家庭医療の実績を基に白山・美杉地域の保健・医療・福祉の関係者と連携した体制づくりに取り組んでいます。

平成25年度には、「多職種連携ワークショップ2013」を、26年度は「白山・美杉在宅ケア みんなで考える集い」を開催し、さらに認知症高齢者等の生活を支えるために自治会長や生活・介護支援サポーター等も参画し、多職種連携の事例検討会の定期開催(年3回)がスタートしました。

さらに、地域防災を考える上で地域に密着した消防団と医療・福祉との連携も始めるなど、包括的で全人的な医療を提供するためのシステムを構築し、高齢化の進む地域の医療モデルになることを目指しています。

◆地域の皆さんに信頼される病院づくり

地域の皆さんに信頼されるためには、良質であたたかみのある家庭医療の実践はもちろんですが、当院のスタッフが講師となって毎月開催している健康教室や、秋に開催する「健康のつどい」、病院広報誌「おたっしゃくらぶ」(年4回)、病院ホームページによる情報発信などの取組を行っています。

地域の皆さんに病院玄関前のふれあい花壇を整備していただいたり、一志病院ギャラリーには小学生の作品展示をしてもらうなど、地域とのかかわりも大切にしています。

いつも あなたのそばに！

「家庭医療」

三重県立一志病院

